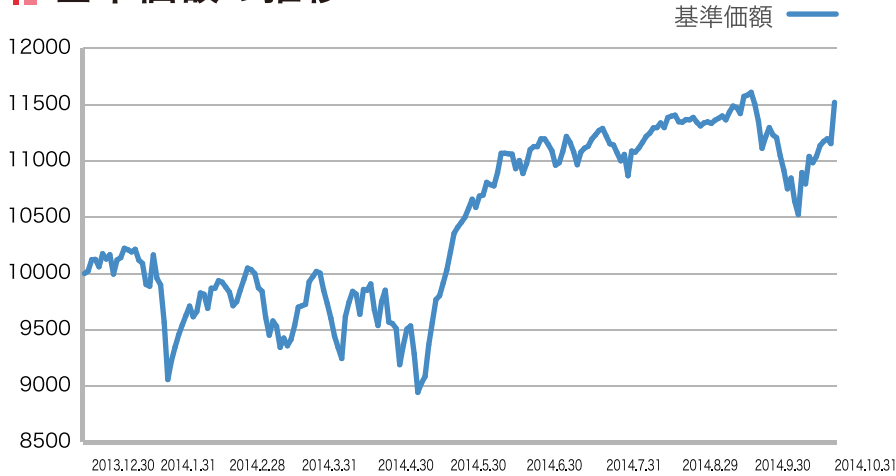




基準日 2014年10月31日付

基準価額の推移



ファンドのデータ

基準価額	11,521円
純資産総額	1,646百万円
受益権総口数	1,428百万口
顧客数	819人

ポートフォリオの構成比 (マザーファンド)

	当月末	前月末比
株式等	70.6%	▲9.9%
現金等	29.4%	+9.9%

構成銘柄	47社	▲4社
------	-----	-----

分配金

初回決算未到来のため、分配金の実績はございません。
なお、初回決算は2014年12月18日の予定です。

基準価額の騰落率

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	年初来	設定来
0.15%	2.67%	20.79%		13.81%	15.21%

運用の特色

①5～10年の中期的な視点で【変化】を捉えます

”変化し始めた企業”、”変化にチャレンジする企業”を中心に株価が割安と判断した企業に投資をします。

②50銘柄程度に厳選投資を行います

当ファンドでは50銘柄程度に厳選投資を行います。大型株から小型株までを投資対象とします。

一方で、50銘柄程度あれば分散効果も十分得られると考えています。

※ボトムアップ・アプローチを重視し、ベンチマークは設けません。

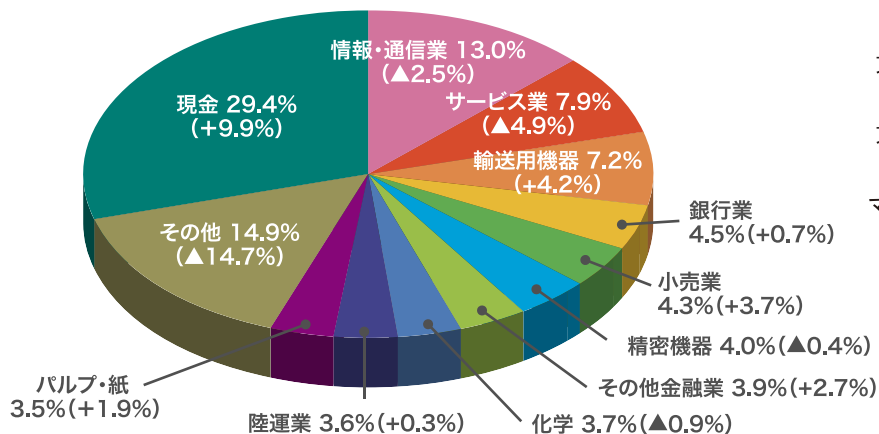
③収益を狙うタイミングと、リスクを回避するタイミングをコントロールします

市場の下落リスクなどにに基づき、株式組入比率を上げて積極的に収益を狙うタイミングと、現金等の比率を上げてリスクを回避するタイミングをコントロールすることを目指します。

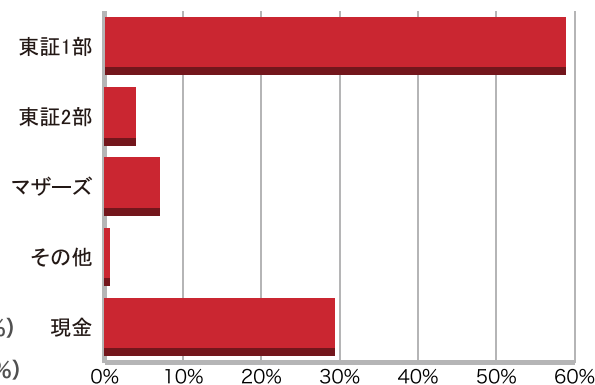
※株式への投資は、信託財産の50%超(100%～30%の範囲内)を基本とします。

基準日 2014年10月31日付

業種別構成比 ()内は前月比



市場別構成比



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

組入上位5銘柄

(2014年9月30日現在)

銘柄名	市場	業種	比率
ソニー	東証1部	電気機器	3.4%
日立物流	東証1部	陸運業	3.3%
CYBERDYNE	東証マザーズ	精密機器	3.3%
デジタルアーツ	東証1部	情報・通信業	3.3%
日立化成	東証1部	化学	3.3%

- 組入上位5銘柄については、開示基準日がその他の情報と異なります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。
- 比率は純資産総額を100%として計算しております。

組入上位5銘柄の紹介

(2014年9月30日現在)

銘柄名[コード]	概要
ソニー [6758]	井深大氏と盛田昭夫氏らによって設立されたベンチャー企業が前身。エレクトロニクス事業を出発点に、音楽・映画、ゲーム、金融と企業規模が拡大するなか、創業精神は失われ、国際競争力も大きく低下。新しい経営体制のなかで企業体質の変革を目指す。
日立物流 [9086]	日立製作所の連結子会社で、3PL(企業物流の包括的受託)の国内最大手。グループ内だけにとどまらず、自動車物流や国際物流に強みを持つ物流大手バンテックの買収、トルコの物流会社の株式譲受けなどM&A戦略加速化で、国内外の物流対応力の強化を図る。
CYBERDYNE [7779]	ロボットスーツHAL(身体機能を改善・補助・拡張することができる、世界初のサイボーグ型ロボット)を医療・介護・福祉分野、労働・重作業分野など人間生活に役立つ領域で展開することを目的として、筑波大学大学院教授が起業した、大学発ベンチャー企業。
デジタルアーツ [2326]	フィルタリング(有害サイトアクセス制限サービス)技術を核に情報セキュリティ事業を、企業・公共(官公庁・学校)・家庭向けに展開。企業などを狙ったサイバー攻撃や、企業の情報漏洩が増えるなか同社へのニーズが高まる。
日立化成 [4217]	日立製作所の化学部門が独立した日立グループの優良化学会社。半導体材料、リチウムイオン二次電池用負極材などで強みを持つ。グローバル競争を勝ち抜くため、業績が順調に推移しているうちに、人員削減など国内部門の構造改革を推進。

- 組入上位5銘柄については、開示基準日がその他の情報と異なります。

市場概況と運用状況

市場環境

10月の日本株は中旬まで世界景気減速懸念が加速し急落しましたが、後半はFRB(米連邦準備理事会)理事によるQE(量的金融緩和策)継続コメントやECB(欧州中央銀行)景気刺激策検討などを受けて上昇に転じました。月末はGPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)報道や日銀の追加金融緩和決定によるサプライズにより急上昇、日経平均は約7年ぶりとなる高値水準となりました。10月の月間リターンは、日経平均1.49%の上昇、TOPIX0.55%の上昇となりました。

月初はECB理事会(2日)や米雇用統計(3日)の発表を前に利益確定などの売りに押されて下落し、その後も17日までは断続的な下落局面となりました。7日に発表されたIMF(国際通貨基金)による世界経済成長率予想の下方修正、独鈷工業生産指数の大幅下落などを受けて欧米株が急落、8日には日銀が鈷工業生産予測を下方修正するなど、日経平均は連日下落し、17日には月間最安値14529円(ザラ場)を付けました。その後は、16日に発表されたFRB理事によるQEを継続すべきとのコメントが好感されたことや、ECBが景気刺激策を検討していることなどを背景とした欧米株高などを受けて、急速に買い戻しされる展開となりました。29日FRBはQE3の終了を決定しましたが、31日にGPIFが日本株の運用比率を大幅に引き上げるといふ報道から株高となり、午後に発表された日銀の追加金融緩和決定によるサプライズにより為替は大きく円安に進み、日経平均は急上昇、約7年ぶりの高値水準となる16413円(終値)を付けました。

指数別で見ると、日経平均株価(+1.49%)やTOPIX(+0.55%)は上昇となりましたが、東証マザーズ指数(▲5.09%)やJASDAQ指数(▲4.40%)、東証2部(▲2.87%)、日経JASDAQ平均(▲2.71%)が下落となりました。TOPIX規模別を上昇順に見ると、ラージ70(+1.01%)、コア30(+0.93%)、ミッド400(+0.31%)、スモール(▲1.42%)となっています。TOPIX業種別株価指数の騰落率上位3位は水産・農林業、不動産業、陸運業。同下位3位は鈷業、ガラス土石、非鉄金属でした。なお33業種のうち21業種が上昇しています。

投資行動とパフォーマンス

(組入比率とその内訳、組入銘柄に関する記載は、マザーファンドについてとなります)

◎10月のポートフォリオ構成比率

10月末の株式等組入比率は、前月末80.5%から9.9%引き下げ、70.6%となっています。逆にキャッシュ(現金)比率は、前月末20%程度から30%程度に引き上げています。

◎10月の投資行動

10月は、株式マーケットが急落した14~17日のボトム圏(日経平均15000円以下)で株式を買い付けました。具体的には、世界景気減速懸念の加速などから、株価下落によって割安になった内需株を中心に株式等組入比率90%台後半まで買い増しました。月末(31日)は、①GPIFによる日本株運用比率の大幅引き上げ報道から株高(日経平均16000円手前)となったところで同比率を85%程度まで引き下げ、②日銀の追加金融緩和決定により大幅急上昇した大引け間際(日経平均16500円台)に70%台まで引き下げました。具体的には、消費増税判断を控えたなか、市場や家計の期待に働きかける追加金融緩和であっても株式市場の急騰は行き過ぎと判断し、割高感が出てきた銘柄を中心に保有比率を引き下げました。

◎10月の組入銘柄の内訳

10月末の組入銘柄は、前月末から4銘柄減少して47銘柄となりました。業種別構成比率トップ3は、情報・通信業13.0%、サービス業7.9%、輸送用機器7.2%の順です。市場別構成比率トップ3は、東証1部58.8%、マザーズ7.1%、東証2部4.0%です。

◎組入上位5銘柄(1ヶ月遅れの開示のため9月末現在)

9月末の新規トップ5に新たに入った銘柄は、「ソニー」、「日立物流」、「CYBERDYNE」、「デジタルアーツ」、「日立化成」の5銘柄です。圏外になった銘柄は、「NTTデータ」、「明治ホールディングス」、「朝日インテック」、「コナミ」、「KADOKAWA・DOWANGO」(9月末時点までの銘柄名は「ドワンゴ」)の5銘柄です。

◎10月のファンド月間リターン

10月末の基準価額は11521円(9月末11504円)。ファンドの月間リターンは0.15%の上昇となりました。当ファンドにベンチマークはありませんが、参考指数として、TOPIX(10月末構成比率58.8%)は+0.55%、マザーズ(同7.1%)は▲5.09%、JASDAQ指数(同0.7%)は▲4.40%、東証2部(同4.0%)は▲2.87%となっています。ファンドの年初来(10か月)リターンは13.81%の上昇となりました。年初来のTOPIXは2.41%の上昇、日経平均は0.75%の上昇となっています。

2014年11月6日 運用部長 糸島 孝俊

II メディア掲載

日付	掲載メディア	ニュース
10月5日	日経電子版	マネーブログ カリスマの直言「個人の長期投資をテコに地域創生を」に渋澤が寄稿しました
10月5日	GOODWAY	「第6回コモンズ社会起業家フォーラム」の様子を取材いただきました
10月6日	日経CNBC	日経ヴェリタストークに渋澤が出演しました
10月7日	日経新聞	朝刊21面銘柄診断「日本電産」に糸島がコメントしました
10月11日	テレビ東京	マネーの羅針盤「ブルベア羅針盤」に糸島が出演いたしました
10月13日	読売新聞	「七転び八起き」で伊井を紹介いただきました
10月17日	日経電子版	「嵐の中でバリュー投資 長期保有、買いの好機に」でコモンズ投信と糸島を取り上げていただきました
10月17日	日経新聞	「スクランブル」でコモンズ投信と糸島を紹介いただきました
10月18日	日経新聞	M&Iで「こどもトラスト」を取り上げていただきました
10月20日	ラジオ	インターネットラジオ 幸せ発信局 『笑顔でhug パラダイス』に糸島が出演しました
10月27日	日経新聞	発掘 長期保有株(4)「安全性と割安 優良銘柄は地方に眠る 米投資家グレアム氏に学ぶ」で糸島がコメントしました
10月27日	BSジャパン	「日経朝とく」に糸島が出演いたしました

II セミナー案内

セミナー名	日付	時間	場所
はじめてのコモンズ～はじめて編～	11月22日(土)	13:30～15:30	TKPガーデンシティ名古屋新幹線口
はじめてのコモンズ～ファンド編～	11月22日(土)	16:00～18:00	
はじめてのコモンズ～投資ビギナーズ編～	11月14日(金)	10:30～12:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
パパとママのためのこどもトラストセミナー	11月26日(水)	19:00～20:30	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
くつろぎBAR	11月19日(水)	18:00～20:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
年末くつろぎBAR	12月17日(水)	18:00～20:00	東京都千代田区(オーバカナル紀尾井町店)
渋澤健 新著出版記念セミナー	11月7日(金)	19:00～21:00	福岡県福岡市(福岡ビル)
	11月15日(土)	10:00～12:00	静岡県静岡市(ホテルASSOCIA)
	11月21日(金)	18:30～20:00	名古屋市中区栄(ジュンク堂書店 ロフト名古屋店)
	12月8日(月)	19:00～20:30	東京都中央区(八重洲ブックセンター)
「企業との対話」ワークショップ	11月17日(月)	19:00～20:30	東京都千代田区(21C クラブ)
コモンズ30塾アフリカセミナー～丸紅～	12月3日(水)	19:00～21:00	東京都千代田区(21C クラブ)
「ザ・2020ビジョン」 運用報告&マーケット見通し(※)	1月16日(金)	19:00～20:30	大阪(場所未定)
	1月17日(土)	10:00～11:30	
	1月17日(土)	15:00～16:30	名古屋(場所未定)
	1月21日(水)	10:00～11:30	東京(場所未定)
	1月21日(水)	19:00～20:30	

※「ザ・2020ビジョン」運用報告&マーケット見通しについては、詳細が決まり次第弊社ウェブサイト順次アップしてまいります。

また、当日はファンドマネージャー糸島の新著出版とファンドの1周年を記念したイベントも企画しておりますので、どうぞお楽しみに。

※セミナーの詳細、お申し込みは弊社ウェブサイトまたはコールセンターへお願いいたします。

<http://www.common30.jp/seminar/> 03-3221-8730 (コールセンター、平日午前9時～午後5時受付)

ザ・2020ビジョンの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。 なお、運用実績における基準価額は、信託報酬控除後のものです。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 ・ 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

ザ・2020ビジョンのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込みメモ

信託設定日	平成25年12月27日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
決算日	原則として毎年12月18日(休業日のときは、翌営業日を決算日とします。)
収益分配	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込受付日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額とします。
換金代金の 支払い開始日	換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。

お問い合わせ先

■コールセンター (受付時間/平日 9時~17時)

03-3221-8730

■メール

commons-call@commons30.jp

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第2061号
加入協会 一般社団法人投資信託協会

コモンズ投信株式会社
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階